

10カ所のクイズポイントをめぐり答えを下記に記入してください。

Q.1

三ノ輪橋
おもいで館
(交通局)

Q.2

荒川区立
尾久図書館
(荒川区)

Q.3

あらかわ
遊園
(荒川区)

Q.4

荒川電車
営業所
(交通局)

Q.5

北とびあ
(北区)

Q.6

渋沢×北区
飛鳥山おみやげ館
(北区)

Q.7

雑司が谷
案内処
(豊島区)

Q.8

雑司が谷
地域文化創造館
(豊島区)

Q.9

甘泉園公園
管理事務所
(新宿区)

Q.10

夏目漱石
誕生の地
(新宿区)

クイズラリーのルール

- このクイズラリーは、東京さくらトラム（都電荒川線）の沿線施設10カ所をめぐります。
- 応募には、この冊子の最終ページの応募用紙が必要です。
- 10カ所すべてのクイズに解答した方、6問以上解答した方、3問以上解答した方は、応募用紙に必要事項をご記入の上、各クイズポイントに設置された「応募箱」にお入れください。
※夏目漱石誕生の地には「応募箱」の設置はありません。
- クイズに正解された方の中から抽選で、東京さくらトラム（都電荒川線）沿線4区の素敵な賞品や東京都交通局のグッズが当たります。
- 希望賞品に複数チェックされた場合は、抽選対象から外れる場合があります。

問い合わせ先

東京さくらトラム（都電荒川線）クイズラリー事務局
電話：03-6432-4547（受付時間：平日10時～17時）

※お問い合わせ内容によっては、回答にお時間をいただく場合がございます。

※新型コロナウイルス感染予防のため、マスクの着用、手洗い、咳エチケットなどのご協力をお願いいたします。

HTT
TokyoTokyo

都営交通111周年記念

都電でめぐる 秋のわくわくキャンペーン

クイズに答えて目指そう！ 都電沿線博士

クイズラリー

東京さくらトラム
(都電荒川線)

開催期間 令和4年

9/30_金 - 11/11_金

QUIZ RALLY

東京さくらトラムで楽しもう！

全10カ所のポイントを巡り、

クイズに答えて抽選で賞品をゲット！

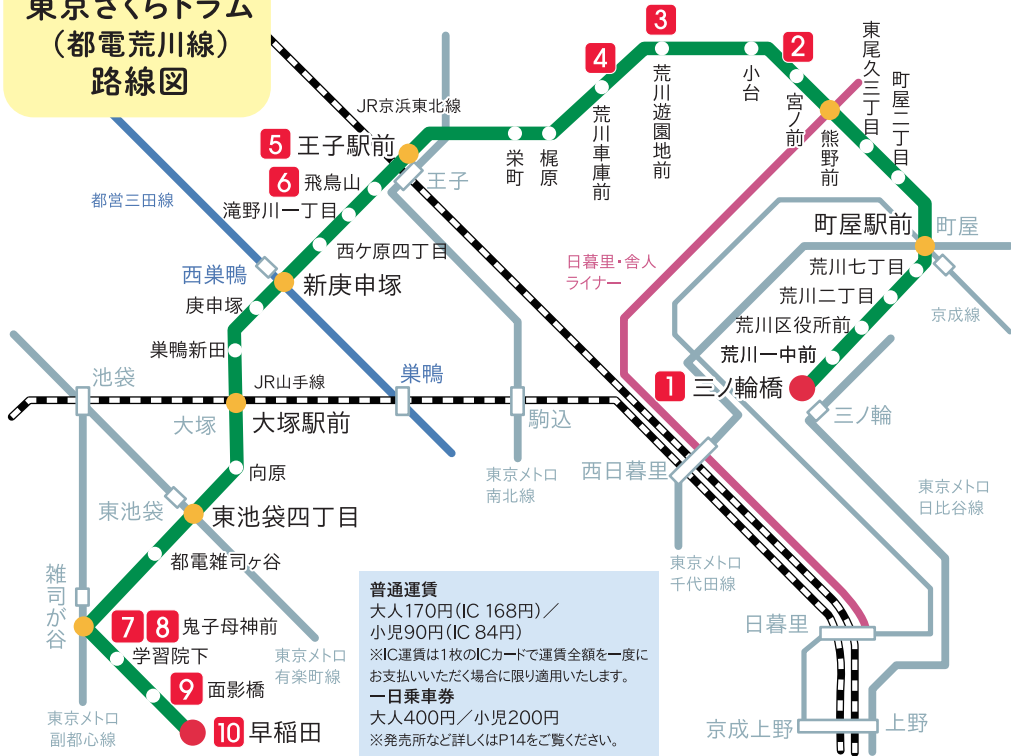
1日乗車券を使うと便利だよ！

【主催】 都電荒川線沿線4区地域活性化協議会
(荒川区・北区・豊島区・新宿区・東京都交通局)

一般財団法人
東京都営交通協会

※都電荒川線沿線4区地域活性化協議会は都電沿線の4区と東京都交通局が連携して沿線地域の活性化に取り組むために発足した協議会です。

東京さくらトラム
(都電荒川線)
路線図



普通運賃
大人170円(IC 168円) / 小児90円(IC 84円)
※IC運賃は1枚のICカードで運賃全額を一度にお支払いいただく場合に限り適用いたします。
一日乗車券
大人400円 / 小児200円
※発売所など詳しくはP14をご覧ください。

とくしゅう
特集
都電の
歴史

すべての「今日」のために。
とでん 111年



東京を走る唯一の都電「東京さくらトラム(都電荒川線)」。都電が誕生して、今年で111周年を迎えました。都電は、長い歴史を乗せて、人や暮らし、都電に関わるすべての「今日」のために走り続けています。そんな都電に乗って、ぜひ荒川区・北区・豊島区・新宿区をめぐるクイズラリーを楽しんでみてください。

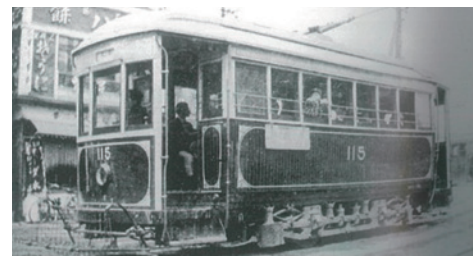
ヨトハ、ヨヘロ?
車両の名前にある歴史

都電はもともと市電と呼ばれていました。明治時代のころ、「東京都」ではなく「東京府東京市」という名前だったからです。市電や都電にもその種類によって名前が付けられています。今から100年以上前に街を走っていたのが、「1形」「251形」「750形」などです。

- 車両記号の意味
- ㊦ 四輪車
 - ㊧ 東京電車鉄道からの引継ぎ車
 - ㊨ 張り天井に改造したもの
 - ㊩ ベスチビュール(前面窓)付き
 - ㊪ 大正3年車体新造
 - ㊫ 大正6年車体新造 など

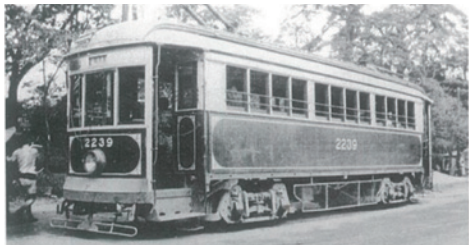
さまざまな車両が走り、路線もどんどん増えて、1919(大正8)年には、1日の平均乗客数が100万人を超えるまでになりました。しかし、1923(大正12)年の関東大震災によって、多くの車両を失ってしまいます。その後、新しく作られた車両の一つが「2200形」です。その特徴は、前照灯というライトが飛び出したデザインです。

多くの人に支えられ、市電は震災直後から少しずつ運転を再開させます。まだまだ震災によって困っている人が多かったため、運賃をもらわない無料電車を運行し、翌年には全路線で運転を再開しました。



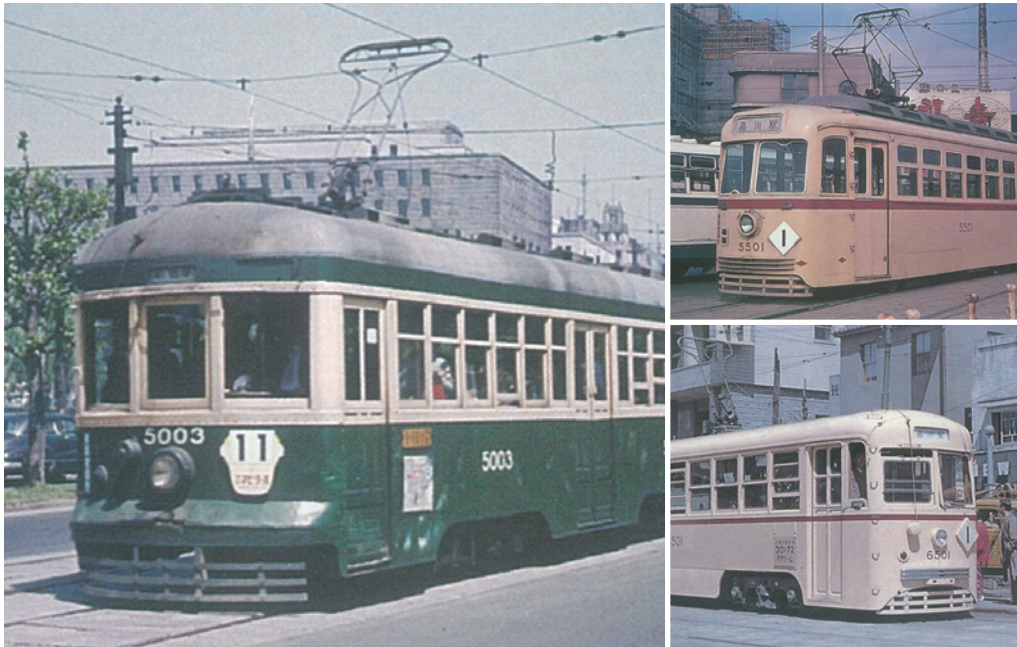
1形(明治36年)

これとは別に車両のカタチや会社名などを表すカタカナで呼ぶこともありました。例えば、四輪車で東京電車鉄道という昔の鉄道会社から引き継がれた車両は「ヨト」。大正時代に車体を新しくした「ヨサ」、ベスチビュール(入口・玄関という意味)を取り付けた「ヨヘサ」、そして1917(大正6)年に降に改造したものを「ヨヘロ」と呼びました。



2200形(大正13年)

クイズ設置施設	開館時間	クイズラリー期間中の休館日
1 三ノ輪橋おもいで館(交通局)	午前10時～午後6時	火・水曜日(祝日の場合は営業)
2 荒川区立尾久図書館(荒川区)	火曜から金曜 午前9時～午後7時30分 土日祝 午前9時～午後5時	毎週月曜日(祝日にあたる場合は翌日以降の平日) 11/8～11特別整理休館 (クイズ・小冊子は設置あり、応募箱は設置なし)
3 あらかわ遊園(荒川区)	午前9時～午後5時 (夜間開園日は午後8時まで)	毎週火曜日(祝日にあたる場合は翌日)
4 荒川電車営業所(交通局)	午前7時～午後7時	なし
5 北とびあ(北区)	午前8時30分～午後10時	なし
6 渋沢×北区 飛鳥山おみやげ館(北区)	午前11時～午後4時30分 ※時期により変更あり	月曜日(祝日の場合は営業し翌日休)
7 雑司が谷案内処(豊島区)	午前10時30分～午後4時30分	原則、毎週木曜日
8 雑司が谷地域文化創造館(豊島区)	午前8時45分～午後9時30分	10/31
9 甘泉園公園管理事務所(新宿区)	午前7時～午後7時 (11～2月は午後5時まで)	なし
10 夏目漱石誕生の地(新宿区)	常時	なし



左 5000形(昭和5年)・右上 5500形(昭和28年)・右下 6500形(昭和29年)

昭和・平成・令和 未来に向かう都電

都電荒川線は、多くの人により利用しやすく親しまれるよう、進化を続けています。1990(平成2)年には、28年ぶりの新車となる「8500形」が登場。さらに2007(平成19)年にはレトロデザインの「9000



8500形 (平成2年)

都電として28年ぶりとなる新造車で、スマートな外観と快適な乗り心地を実現した車両。



9000形 (平成19年)

都電荒川線と沿線地域の活性化のために導入した新型車両です。昭和初期の東京市電をイメージしたレトロなデザインになっています。



8800形 (平成21年)

「荒川線の未来を開く、先進性と快適性」をコンセプトに、丸みのあるスタイルで優しさと親しみやすさをイメージし、従来の車両の約2割の省エネを実現。



8900形 (平成27年)

8800形を基本とし、「人にやさしい」をコンセプトとして、客室及び運転台の改良が行われました。



7700形 (平成28年～)

交通局内の若手職員らによる「荒川線アピールプロジェクトチーム」の発案によってクラシックモダンなデザインに。



※車両写真は、東京都交通局の『都営交通100周年 都電写真集』、HP「車両ギャラリー」より。

新車や大型車 さまざまな車両の登場

昭和になると、車体を鋼鉄にした「5000形」が登場します。この車両は長さ13m、幅2.44m、定員100人と、当時としては最大級の車両でした。

1943(昭和18)年、「東京府東京市」は「東京都」になり、市電も都電と呼ばれるようになります。しかし、第二次世界大戦という大きな戦争によって602両もの車両と、いくつもの路線が燃えてなくなってしまいます。それでも都電は、都民の足として走り続け、終戦後は一生懸命に復旧に取り組みました。車両を作るための材料が不足していましたが、新しい車両や大型の車両などを作るだけでな

く、新しい時代にふさわしい色にするなど車両も生まれ変わっていきました。

アメリカの技術を導入して作られた車両もあります。それが「5500形」です。車体は14.3mと都電では最大となり、PCCカーとも呼ばれる車両です。一方で、日本の技術で作られた車両として「6500形」なども登場します。より良い車両を作る改造も行われ、都電は東京に暮らす人たちの重要な「足」となったのです。この頃、1日の乗客数は最多の約175万人を記録します。その後、線路の総延長は213.7kmにもなりました。

しかし、その後に東京の街を多くの自動車が走るようになると都電は交通渋滞の原因として見られるようになり、多くの路線が姿を消していきました。その中で、最後まで残ったのが現在の都電荒川線です。

荒川区 「あらかわ遊園」の開園は今から何年前!?



「あらかわ遊園」は民間による経営の時代から数えると、今からちょうど100年前、1922(大正11)年に開園したことを皆さんは知っていますか? 「あらかわ遊園」ができる前は、大きなレンガ工場がありました。その広

い土地を、レンガのへいで囲み、土を盛って滝をつくり、荒川の水を利用した池には貸しボートを浮かべました。開園当日は、たくさんのお花も打ち上げられました。その後、第二次世界大戦の影響で荒れはててしまいましたが、

1950年に「荒川区立荒川遊園」として生まれ変わり、つり堀、野外ステージ、大温室、どうぶつ広場など、家族みんなで楽しめる遊園地になりました。そして2018年から約3年半の休園期間を経て、2022年4月「あらかわ遊園」はさらに新しくなってオープンしました。連日たくさんのお客様が訪れ、次の100年に向けて新しい歴史を刻み始めています。



Q.1 クイズポイント

三ノ輪橋おもいで館

📍 荒川区南千住1-12-6
☎ 03-3816-5700(都営交通お客様センター)
🏠 「三ノ輪橋」停留場より徒歩1分
🕒 午前10時～午後6時
📅 火・水曜日(祝日の場合は営業)



Q.4 クイズポイント

荒川電車営業所

📍 荒川区西尾久8-33-7
☎ 03-3893-7451
🏠 「荒川車庫前」停留場より徒歩1分
🕒 午前7時～午後7時

Q.3 クイズポイント

あらかわ遊園

📍 荒川区西尾久6-35-11
☎ 03-3893-6003
🏠 「荒川遊園地前」停留場より徒歩3分
🕒 午前9時～午後5時
(夜間開園日は午後8時まで)
📅 毎週火曜日(祝日にあたる場合は翌日)

Q.2 クイズポイント

荒川区立尾久図書館

📍 荒川区東尾久8-45-4 ☎ 03-3800-5821 🏠 「宮ノ前」停留場より徒歩2分
🕒 火曜から金曜 午前9時～午後7時30分 土日祝 午前9時～午後5時
📅 毎週月曜日(祝日にあたる場合は翌日以降の平日)
11/8～11 特別整理休館(クイズ・小冊子は設置あり、応募箱は設置なし)

1 **三ノ輪橋おもいで館**
📍 荒川区南千住1-12-6

東京さくらトラム(都電荒川線)を始めとした都営交通をより便利にご利用いただくための案内施設です。乗車券やグッズの販売や、沿線をモチーフにしたジオラマや都営交通の貴重な品の展示も行っております。



2 **荒川電車営業所**
📍 荒川区西尾久8-33-7

荒川電車営業所の隣には都電おもいで広場があり、貴重な都電の旧型車両を2台展示しております。土・日・祝のみ開場。
※荒川電車営業所は無休



3 **あらかわ遊園**
📍 荒川区西尾久6-35-11

都内唯一の区立遊園地。リニューアルにより、大型遊具、室内遊び場、飲食店も大変身!来園には予約が必要な場合があります。ホームページをご確認ください。



4 **荒川区登録有形文化財 あらかわゆうえんレンガべい 荒川遊園煉瓦塀**
📍 荒川区西尾久6-20

大正11年の荒川遊園開園の頃に建てられたとされているレンガ塀。現在も残る門柱付近に歴史を説明する看板が設置され、見学スポットになっています。



5 **水上バス発着場とグロッケン(鉄琴)**
📍 荒川区西尾久6-35

水上バスの発着場近くの欄干(らんかん)に鉄琴が設置されています。鍵盤をたたくと滝廉太郎作曲の「花」がかかります。



6 **尾久図書館・宮前公園**
📍 荒川区東尾久8-45-4

「学ぶ、集う、楽しむ」をテーマに、赤ちゃんから高齢者までご利用いただける居心地の良い図書館。公園の中にある図書館なので、お散歩のついでに立ち寄ってみてください。



に ほん きん だい か ささ じょう ねつ ひと しぶ さわ えい いち
北区 日本の近代化を支えた情熱の人・渋沢栄一



渋沢栄一を知っていますか？栄一は、江戸時代の幕末から明治期にかけ、日本の近代化に大きく貢献した人物です。近代化とは、分かりやすくいえば、経済や産業を発展させ、より良い暮らしに向かうこと。栄一は、銀

行やガス会社、製紙会社、ホテルなど、さまざまな会社の設立に関わりました。その数、なんと約500社！多くの学校や病院などの設立にも関わり、日本の近代化を支えたのです。栄一が住んでいたのが、北区の飛鳥山で

す。現在の飛鳥山には、栄一の人生を知ることができる「渋沢史料館」や、紙の歴史を学べる「紙の博物館」などがあります。さらに北区には、教科書の図書館「東書文庫」、お札と切手の博物館（国立印刷局王子工場）など、日本の近代化に貢献した建造物も多くあります。都電に乗って、日本の近代化につながるスポットをぜひめぐってみてください。



写真：国立国会図書館ウエブサイト「近代日本人の肖像」より



Q.5 クイズポイント
北とびあ
 ㊦ 北区王子1-11-1 ☎ 03-5390-1100
 ㊧ 「王子駅前」停留場より徒歩5分
 ⌚ 午前8時30分～午後10時



Q.6 クイズポイント
渋沢×北区 飛鳥山おみやげ館
 ㊦ 北区西ケ原2-16 (飛鳥山公園管理事務所内)
 ☎ 080-4787-9842
 ㊧ 「飛鳥山」停留場より徒歩4分
 ⌚ 午前11時～午後4時30分 ※時期により変更あり
 ㊨ 月曜日 (祝日の場合は営業し翌日休)

1 北とびあ

㊦ 北区王子1-11-1

最上階17階展望ロビーから電車や新幹線、線路をながめられます。王子駅前停留場から尾久車両センター周辺まで、鉄道風景を見渡せます。



2 王子稲荷神社

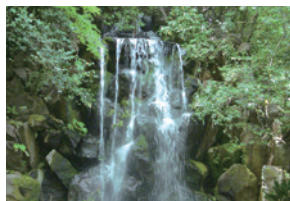
㊦ 北区岸町1-12-26



江戸時代からみんなに親しまれてきた神社。境内の狐の穴跡は、落語「王子の狐」の舞台になっています。

3 名主の滝公園

㊦ 北区岸町1-15-25



都内でもめずらしい8mの落差がある男滝など、4つの滝があります。ちょっとした自然散歩におすすめ。

4 お札と切手の博物館

㊦ 北区王子1-6-1



お札や切手だけでなく、お札をつくるための銅版画などを展示しています。にせ札をつくることを防止する技術も学べます。入場無料。

5 飛鳥山公園 (3つの博物館)

㊦ 北区王子1-1-3



江戸っ子の行楽地、明治6年指定の日本最初の公園のひとつ。園内には「北区飛鳥山博物館」「紙の博物館」「渋沢史料館」があります。

6 渋沢×北区 飛鳥山おみやげ館

㊦ 北区西ケ原2-16 (旧渋沢庭園内)



大河ドラマをきっかけに誕生したお店。北区の会社やお店がつくった渋沢オリジナル商品や、北区のおみやげがいろいろそろっています。

豊島区 まんがの聖地・トキワ荘マンガミュージアム



「トキワ荘」とは、豊島区椎名町（現在の南長崎）にあった木造2階建のアパート。4畳半のその部屋に1953年、ある人物が引っ越してきました。のちに日本を代表するマンガ家となる手塚治虫です。その後、藤子

不二雄（藤子・F・不二雄、藤子不二雄A）や石ノ森章太郎、赤塚不二夫なども住み始め、ともに青春時代を過ごし、日本のマンガ界を盛り上げました。トキワ荘は1982年に解体されましたが、2020年に「豊島区立トキワ

荘マンガミュージアム」として生まれ変わりました。また、手塚治虫がトキワ荘の次に住んだ並木ハウスは今も雑司が谷にあり、その近くの「雑司が谷案内処」2階のギャラリーには、手塚治虫が描いた当時の並木ハウスの様子がパネル展示されています。都電に乗って豊島区のマンガの聖地をたずねてみませんか。



Q.7 クイズポイント

雑司が谷 案内処

📍 豊島区雑司が谷3-19-5
並木ハウスアネックス内
☎ 03-6912-5026
🏠 「鬼子母神前」停留場より徒歩1分
🕒 午前10時30分～午後4時30分
🗓 原則、毎週木曜日



Q.8 クイズポイント

雑司が谷地域文化創造館

📍 豊島区雑司が谷3-1-7（千登世橋教育文化センター内）
☎ 03-3590-1253 🏠 「鬼子母神前」停留場より徒歩2分
🕒 午前8時45分～午後9時30分
🗓 10/31（クイズラリー期間内）
※大通り（明治通り側）1階正面入口からお越しください。

1 雑司ヶ谷鬼子母神堂
📍 豊島区雑司が谷3-15-20



安産・子育ての神様。境内の子育てイチョウは樹齢700年を越えるものです。例年は、御会式は万灯（まんと）と纏（まとい）が練り歩き、露店もたくさん並びます。
※開堂時間：午前9時～午後5時

2 上川口屋
📍 豊島区雑司が谷3-15-20



江戸時代から続く歴史ある駄菓子屋さんです。あつまっている駄菓子はなんと100種類。午前10時～午後5時、雨天休業。

3 雑司が谷案内処
📍 豊島区雑司が谷3-19-5



雑司が谷のおすすめスポットやイベントなどをご案内します。2階にはギャラリーがあり、地元ゆかりの作品の展示をしています。

4 雑司が谷地域文化創造館
📍 豊島区雑司が谷3-1-7（千登世橋教育文化センター内）



生涯学習や文化活動を通じて地域の方々が交流する場を提供しています。地域学習の講座なども開催しています。

5 雑司ヶ谷霊園
📍 豊島区南池袋4-25-1



明治7年に開設され、数多くの著名人が眠っています。10万㎡に及ぶ広大な墓地には草木や花、自然の安らぎを感じることができます。

6 雑司が谷旧宣教師館
📍 豊島区雑司が谷1-25-5



アメリカ人宣教師J・M・マッカーレブが自宅として建てたものです。明治時代に建てられた宣教師館で、東京都指定有形文化財となっています。
※月曜日、第三日曜日、祝日の翌日、11/8～3/31休館。午前9時～午後4時30分

なつ め そう せき うま そだ しょう がい と まち
新宿区 夏目漱石が生まれ育ち、生涯を閉じた街



小説「吾輩は猫である」「こころ」など有名な日本を代表する作家・夏目漱石は、1867年、江戸牛込馬場下横町（現在の新宿区喜久井町）に生まれました。松山や熊本で教師として働き、イギリス留学も経験し

た漱石は、東京朝日新聞社の職業作家となります。漱石には「人気作家」以外にも顔がありました。1895年にお見合い結婚をし、2人の男子と5人の女の子に恵まれました。いっしょに外出をしたり、相撲を取ったり、優

しい父の顔も持っていたのです。作家として、父親として家族とともに生活をした家「漱石山房」。代表作の数々をここで書き、家族や門下生と過ごし、ここで亡くなりました。その跡地に建つ「漱石山房記念館」は、2022年に開館5周年をむかえます。漱石ゆかりの新宿区をぜひ都電で訪ねてみてはいかがでしょうか。



Q.9 クイズポイント
甘泉園公園管理事務所
 新宿区西早稲田3-5
 ☎ 03-3202-7899
 ① 「面影橋」停留場より徒歩4分
 ② 午前7時～午後7時
 (11～2月は午後5時まで)



Q.10 クイズポイント
夏目漱石誕生の地
 新宿区喜久井町1
 ① 「早稲田」停留場より徒歩10分
 ② 常時

1 亮朝院
 新宿区西早稲田3-16-24



昔から「赤門さん」として親しまれた亮朝院。都内でも珍しい石造りの金剛力士像（新宿区指定有形文化財）は迫力の逸品。

2 源兵衛子育地蔵尊の石造物群
 新宿区西早稲田2-18-26隣



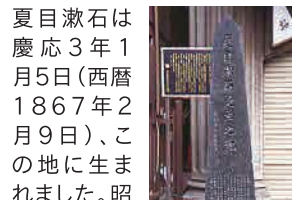
旧源兵衛村の源兵衛子育地蔵尊に安置されている江戸中期の製作とされる地蔵尊と石造物群が集められています。

3 甘泉園公園
 新宿区西早稲田3-5



甘泉園公園は、回遊式庭園です。池を抱く森は周辺とは別世界の静けさを演出し、四季を通して、訪れた人々をもてなします。

4 夏目漱石誕生の地
 新宿区喜久井町1
 (当時：牛込馬場下横町)



夏目漱石は慶応3年1月5日(西暦1867年2月9日)、この地に生まれました。昭和41年、漱石生誕100年を記念し、記念碑を建てました。文字は弟子である安倍能成によるものです。

5 早稲田大学 大隈記念講堂
 新宿区戸塚町1-104



昭和2年に完成。時計塔の高さは大隈の言葉「人生125歳説」にちなみ125尺(約38メートル)。平成19年に国の重要文化財に指定。大学の行事などで使用されます。外観のみ見学できます。

6 漱石山房記念館
 新宿区早稲田南町7



夏目漱石が亡くなるまでの9年間を過ごした家「漱石山房」の跡地に開館した記念館。漱石山房の一部を再現しているほか、関連資料が見られます。

クイズに答えて応募しよう! 抽選で素敵なグッズをプレゼント!

全10問正解

A 5名様

リニューアルオープン あらかわ遊園賞

- ・マグカップ(あら坊・あらみい)
- ・木製コースター
- ・ポストカード6枚セット
- ・クリアファイル
- ・コネクトマグネット
- ・フエキパインアメ(ネックストラップ付)
- ・エコバック



B 5名様 **住めば、北区**

北区にきてね! しぶさわくん賞

- ・しぶさわくんぬいぐるみ(小)
- ・手ぬぐい
- ・しぶさわくんピックアップシート
- ・しぶさわくんクリアボトル
- ・しぶさわくんコーヒー



D 5名様

吾輩が漱石である賞

- ・「吾輩は猫である」ミニトートバッグ
- ・「彼岸過迄」の初版本デザインブックカバー



C 5名様

としま トキワ荘グッズ賞

- ・ソメイヨシノ発祥の地 鉛筆・クリアファイル・ふせん
- ・トキワ荘マンガミュージアム コミックノート・ボールペン・缶マグネット・ラバーマグネット



6問以上正解

E 30名様

東京都交通局賞

- ・9000形メラミンカップ
- ・とあらんぬいぐるみ
- ・プラレール
「東京さくらトラム(都電荒川線) 9000形(9001号車)」



3問以上正解

F 500名様

とあらん賞

- ・とあらん ミニタオル
- ・とあらん メジャー



応募用紙

下記に記入してミシン目で切り取り、応募箱に入れてください。

〒	ご住所	
フリガナ	お名前	
年齢	才	TEL
希望賞品を1つチェックして下さい。	<p>全10問に解答した方はA~F、6問以上解答の方はEまたはF、3問以上解答の方はFのみの応募となります。</p> <p><input type="checkbox"/> A賞 リニューアルオープンあらかわ遊園賞</p> <p><input type="checkbox"/> B賞 北区にきてね!しぶさわくん賞</p> <p><input type="checkbox"/> C賞 としまトキワ荘グッズ賞</p> <p><input type="checkbox"/> D賞 吾輩が漱石である賞</p> <p><input type="checkbox"/> E賞 東京都交通局賞</p> <p><input type="checkbox"/> F賞 とあらん賞</p>	

※ご記入いただいた個人情報は、賞品発送の目的以外では使用いたしません。※抽選の結果は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

便利でお得な「一日乗車券」でクイズラリーを楽しもう!

東京さくらトラム(都電荒川線)を1日に限り何回でもご乗車いただけます。

発売額:大人400円/小児200円

前売り 荒川電車営業所、都電定期券発売所、三ノ輪橋おもいで館で発売しています。
(注)前売り券をご使用の場合、当日の日付を印字するため、初回乗車時のみ料金機にお通しください。2乗車目からは日付の面を乗務員にお見せください。

当日売り 都電の車内、荒川電車営業所、都電定期券発売所、三ノ輪橋おもいで館で発売しています。

有効期限 1日(前売りは発売日から6か月以内の1日に限り有効、当日売りは発売当日に限り有効です)